

回想法「夕一劇」1月号

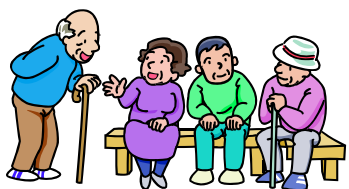
平成26年 1月 6日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
e-mail pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www16.ocn.ne.jp/~piakaiso

明るくい年にしたいです

相互仲良く行きたい

子どもたちに「人の嫌がることを一生懸命にしなさい」と、先生が諭したところ、女のこのスカートをまくり続けて先生に叱られた男の子話を聞きました。昔は、3Kと言われた人の嫌がるような仕事も馬鹿にされることなく、一生懸命働けば、それなりに幸せを手にすることができました。

平成になってから、あらゆる分野で矛盾が明らかになり、信じてきた「神話が」崩れてきたことは確かなことです。謝罪会見が繰り返され、身銭を切ってまで社会を支えるのは嫌・まじめに働くのが馬鹿らしいと思う人がふえているように感じています。些細な不条理ばかりに目が向けられ、肝心なことを置き去りにしてきたようにも思えます。これからは、些細な不条理よりも、地域・社会がみんな協力をして、健康で常識的な暮らしができるようなコミュニティ意識が求められているようです。監視などしなくても信頼できる仲間、何かしくじっても笑顔で「許せる仲間」を増やしてゆけば、困った時でも、安心して地域社会で、家族と一緒に暮してゆくことができるような気がしています。



おらほのラジオ体操

いず・ぬう・さん・す・・・石巻弁の号令で始まる「おらほのラジオ体操」が、高齢者施設など全国1200ヶ所の皆様がこの音源で体を動かしています。

暮に「方言で歌うカラオケ大会」をテレビで放映していました。故郷の温もりをギュッと詰め込んだ方言には、人を元気にする不思議な力、人をひきつける魅力があるようです。

東日本大震災後、避難所では運動不足によるエコノミークラス症候群が心配されていました。そんななか、「東北弁でラジオ体操をやってみたら？」と、ひらめいた方がいました。全国ラジオ体操連盟、NHK、かんぼ生命の3社に掛け合い、被災地で「こんな時にラジオ体操かよ」と、言われるのを覚悟で地元のラジオ局で流したところ、問い合わせが殺到したそうです。

無料で見られるように動画サイトに、被災地の人々が笑顔で体操する姿を投稿しました。世界中からアクセスが集まり、「毎年3月11日、世界中からおらほのラジオ体操を」と呼びかけています。

被災地に思いをはせて、「おらほのラジオ体操」で、思いっきり体を伸ばしてみませんか？体もほぐれてぼかぼか気持ちよくなりますよ。



1月の予定

*歴史民俗資料館 *

開催時間は、13時30分～15時30分

開催日 21日(火)

龍ヶ崎市役所 地下食堂

開催時間は、14時～16時

開催日 27日(月)